

学位論文審査の要旨

学位申請者	村山 佳寿子 比較社会文化学専攻2016年度生	論文題目	箏曲点字楽譜の形成過程に関する研究 —盲教育の黎明期から宮城道雄(1894-1956)による 実践まで—
審査委員	主査: 井上 登喜子 准教授	インター ネット 公表	学位論文の全文公表の可否 : 否
	副査: 米田 俊彦 教授		「否」の場合の理由
	副査: 小坂 圭太 教授		<input type="checkbox"/> ア. 当該論文に立体形状による表現を含む
	審査委員: 湯川 文彦 准教授		<input type="checkbox"/> イ. 著作権や個人情報に係る制約がある
	審査委員: 小塩 さとみ 教授 (宮城教育大学)		<input checked="" type="checkbox"/> ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている
学位名称	博士 (人文科学)		<input checked="" type="checkbox"/> エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている
(英語名)	(Ph. D. in Musicology)		<input type="checkbox"/> オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている
			※本学学位規則に基づく学位論文全文の インターネット公表について

学位論文審査・内容の要旨

本論文は、西洋音楽のシステムに基づく点字楽譜が、日本の伝統音楽の一種目である箏曲と結びつき、近代における音楽教育や盲教育の発展と共に、箏曲のための固有の記譜法として形成されてゆく過程を論じたものである。箏曲点字楽譜は、盲人が扱う楽譜という特殊性から、従来の研究では主たる対象とされてこなかったのに対し、申請者は、明治期以降の盲人と箏曲を取り巻く歴史的背景を、音楽教育と盲教育の歴史資料ならびに宮城道雄による自筆の点字楽譜等の一次資料を用いた検証を通して明らかにするとともに、箏曲点字楽譜の歴史的意義と位置づけを行った。

論文は5章で構成される。第1章は、点字楽譜の前段階として、洋楽のシステムの受容と日本音楽の記譜の取り組みが官立の音楽取調掛や東京音楽学校で行われたことに着目し、盲人のための触察用楽譜「撫譜」の開発と、それに携わった人物の関わりについて論じた。第2章は、東京盲啞学校の設立期を対象とし、同校の音楽教育が構築される過程で、箏曲の家元制度が組み込まれたことや、一時的に洋楽の職業教育が試みられたことを論じ、後の点字楽譜の形成へと繋がる前提を示した。第3章は、東京盲学校における箏曲の点字記譜法の変遷を史料から辿り、大正期より考案・改正されてきた山田流箏曲の記譜法と、大阪市立盲学校で考案された生田流箏曲の記譜法が、昭和初期の東京盲学校で併存した実態を明らかにした。第4章では、大阪市立盲学校の記譜法の解説書『点字箏譜解説』(1925)の記載内容とその成立背景を検討し、同書が洋楽の点字記譜法に基づく合理的な記譜法だったこと、著者は宮城道雄から直接教習を受けるなど接点があったことを明らかにした。第5章では、宮城の自筆点字楽譜の調査から、楽譜の構成や記譜に用いた筆記具等に注目して検証を行い、作曲者の意図が窺える直接的な情報を有していることや、自筆点字楽譜そのものの役割に関しても、時代により変化が生じていったことを明らかにした。

各章の分析とそれらを横断する考察を通して、箏曲点字楽譜の形成過程を辿った結果、その誕生や変化が起こった背景には、外的要因として、①東京盲学校と音楽取調掛ないし東京音楽学校との関係性、②大阪市立盲学校が考案した新たな記譜法の出現、③宮城道雄からの影響があることが明らかになった。以上のことから、本論文は、一次史料に基づく綿密な実証を重ね、近代化のなかで生じてきた日本音楽の記譜と盲学校教育の関わりを、幅広い観点から総合的に扱っている点で、近代日本音楽史ならびに盲教育史の発展に資するものと評価される。

審査委員会は、2023年12月19日と2024年2月7日の2回行われた。審査委員からは本論文が日本音楽史・日本近代史・盲教育史の諸分野にとって意義のある研究と高く評価される一方で、当道の解体から学校教育へと組織される過程に関与した国家、文部省そして当事者である盲人音楽家の意図や、社会における意味付けをより明確に叙述すること、点字楽譜の音高譜への変化を促した背景や理由、そうした近代化・西洋化で失われた部分についての記述を厚くする必要性などが指摘された。申請者はこれらの指摘に対して真摯に修正を行い、2024年2月22日の公開発表会では、論文の概要を明快に説明し、質問に対して的確に回答を行った。よって、審査委員会は、申請論文を、博士(人文科学)、Ph.D.in Musicologyを授与するに相応しいものと判断した。